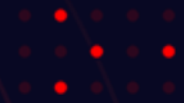




Megaport Virtual Edgeで 実現するデータセンタレス化

2022-07

Megaport Japan





Megaportとは?



Megaportとは



2013



ブリスベン(オーストラリア)に設立
SDN技術によるデータセンタ間
接続の提供

2014

アジア進出

クラウド閉域
接続サービス開始

2015

オーストラリア証券取引所
で上場(MP1)

2019

Megaport Japan
設立

2020

日本においてサービス
提供開始



顧客数: 2,500社以上



接続DC: 787箇所



クラウドオンランプ:
278箇所
(121の地域)

Megaportの特徴



使ったら使った分だけの
料金モデル



シンプルな
ユーザインタフェース



セキュア
オンデマンド



主要なクラウドプロバイダとのパートナーシップ



Office 365

Who we connect

企業



クラウドサービスプロバイダ



データセンター事業社



ネットワークサービス
プロバイダ



Megaport Virtual Edge(MVE)とは?

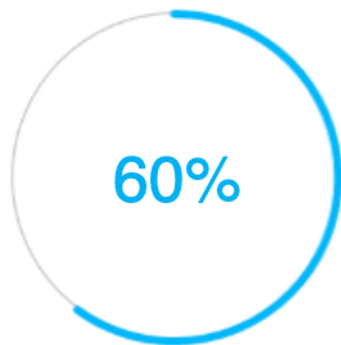


SD-WANは、WANアーキテクチャの新規導入や再構築のための最も好ましい選択肢になっています。
SD-WAN has become the preferred option for new or refreshed WAN edge technologies

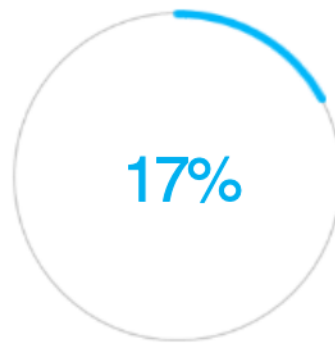
Gartner Forecast Analysis, Feb 2021



マルチクラウドを
採用している、または採用を
予定している企業



2024年までにSD-WANを
導入を計画している企業



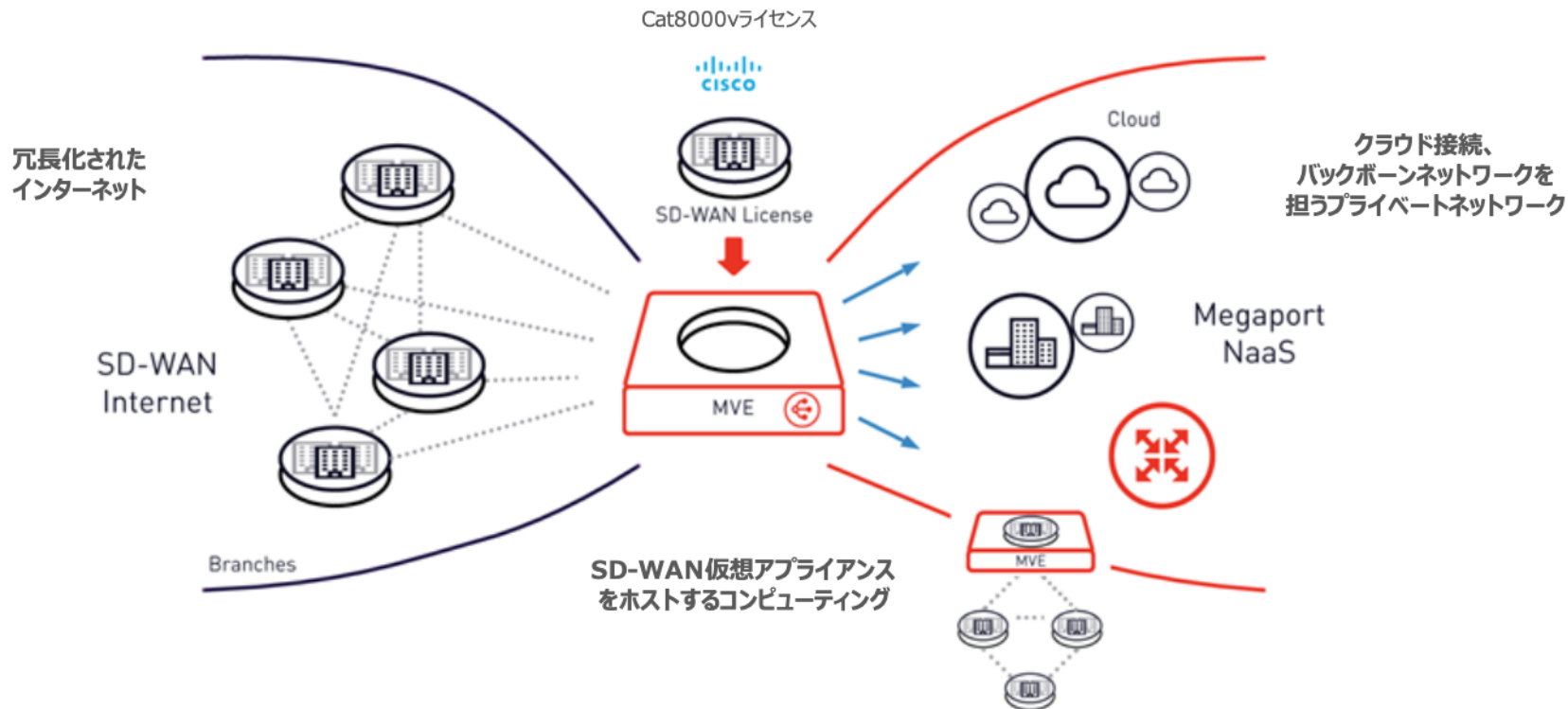
1年当たりのクラウドへのプラ
イベート接続の成長率



2024年までのSD-WANの導入
予定

Source: Gartner

Megaport Virtual Edge (MVE)



MVEカバレッジ



MVEは、少なくとも2つのメトロDCIに設備を構えています。また、2つのTier1インターネットで冗長化されています。



Asia Pacific

Auckland
Hong Kong
Melbourne
Osaka
Perth
Singapore
Sydney
Tokyo



North America

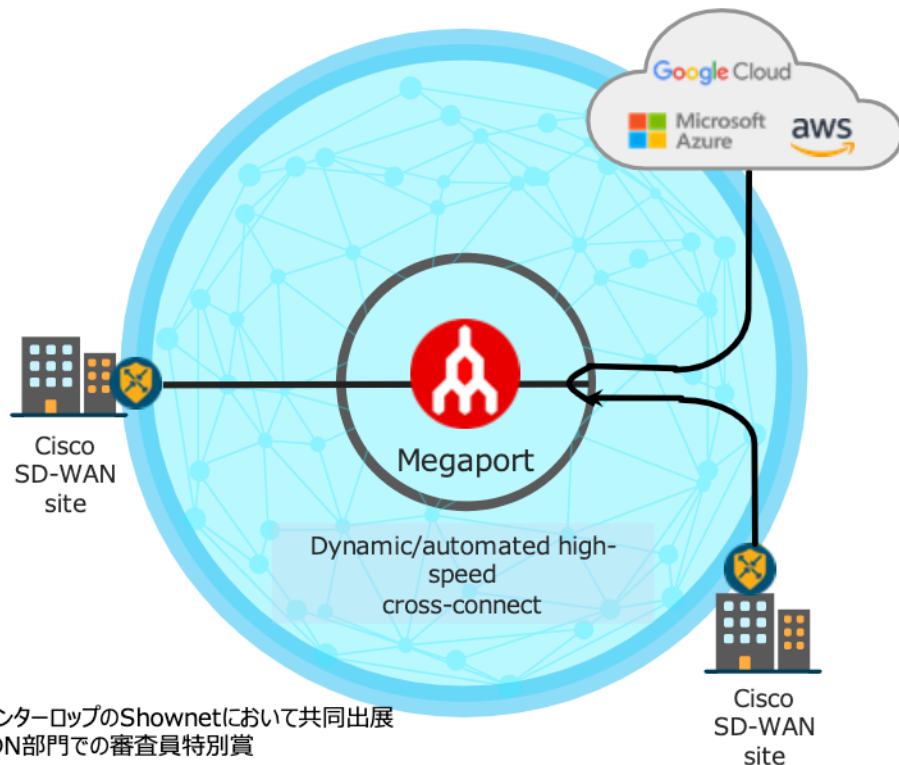
Ashburn
Atlanta
Bay Area
Chicago
Dallas
Denver
Los Angeles
Miami
New York
Phoenix
Seattle
Toronto
Mexico City



Europe

Amsterdam
Frankfurt
London
Stockholm
Paris

Cisco SD-WAN Cloud Interconnect with Megaport



2021年インターロップのShownetにおいて共同出展
NFV/SDN部門での審査員特別賞

Software Defined Cloud Interconnect (SDCI)

Megaportは、最も最初にサポートされたベンダ

Single Pane of Glass

Cisco SD-WANダッシュボードからMegaportサービスを含めて全て設定

Fully Integrated Cloud Connectivity

Google Cloud, AWS, Microsoft Azure

On Global Price List

CiscoのパートナーポータルであるCCW経由でMegaportサービスも購入可能

既存のマネージドSD-WANサービスの一部として負荷なく統合

vManage Cloud On-Ramp for Multicloud

Cisco vManage Select Resource Group

Cloud Interconnect

Megaport

8 Interconnect Gateways

5 Connections

Search

Total Rows: 8

| Interconnect Provider | Region | Account Name | Interconnect Gateway Name | Health | Devices | Connections | Connected Sites | Last resource state |
|-----------------------|-------------|--------------|---------------------------|--------|-----------|-------------|-----------------|---------------------|
| MEGAPORT | Cologix ... | swood1 | swood1-test | ✓ | 0 reac... | - | | LIVE |
| MEGAPORT | Telehous... | megaport-sa | MVE-London | ✓ | 1 reac... | 0 up 2 ... | 12 | ACTIVE |

WORKFLOWS

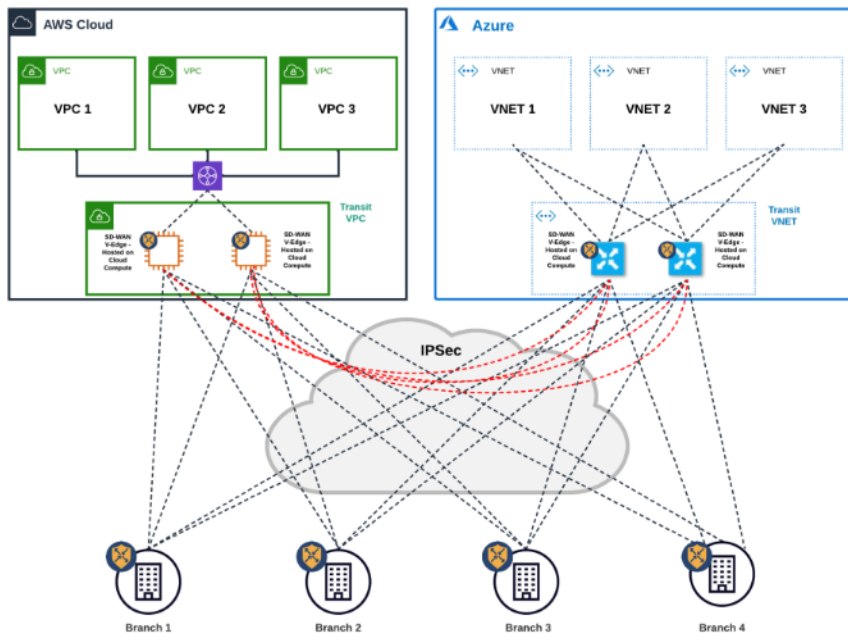
- SETUP
 - Associate Interconnect Account
 - Account Management
 - Interconnect Global Settings
- DISCOVER
 - Host Private Networks
- MANAGE
 - Create Interconnect Gateway
 - Gateway Management
- INTENT MANAGEMENT
 - Interconnect Connectivity

MVEは、CiscoのvManageダッシュボードから直接Interconnect Gatewayとして構築頂けます。また、Cisco GPLにも登録されていますので、Ciscoの製品としても購入頂けます。

既存サービスの運用やプロセスを変更することなく導入頂けます。

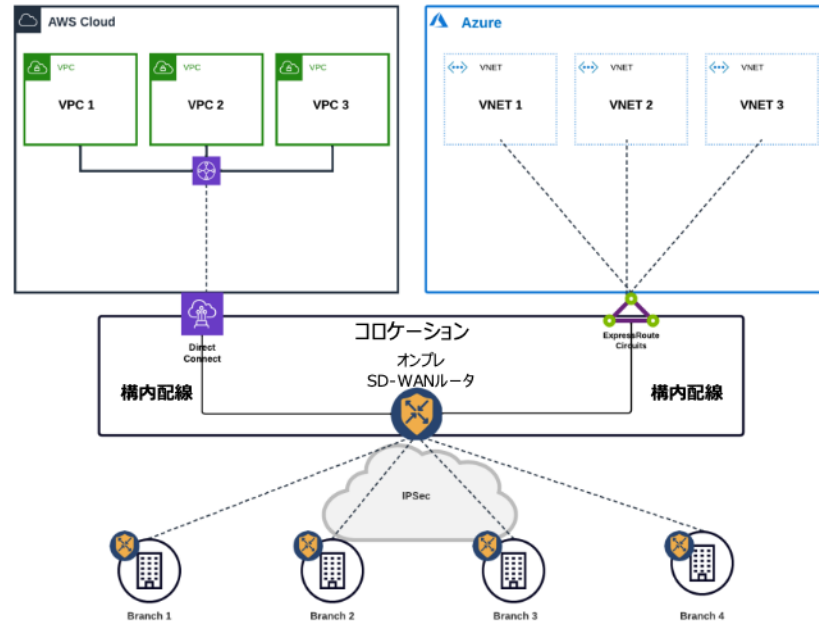
一般的なマルチクラウドとSD-WANサービスの統合モデル

クラウドに仮想アプライアンスを構築



- 各クラウドの深い知識が必要である。
- インターネット経由の接続は、クラウド間のパフォーマンスに制限がある。
- マネージドプロバイダにとっては、責任分界点が曖昧であり、サービスとして提供することが難しい。

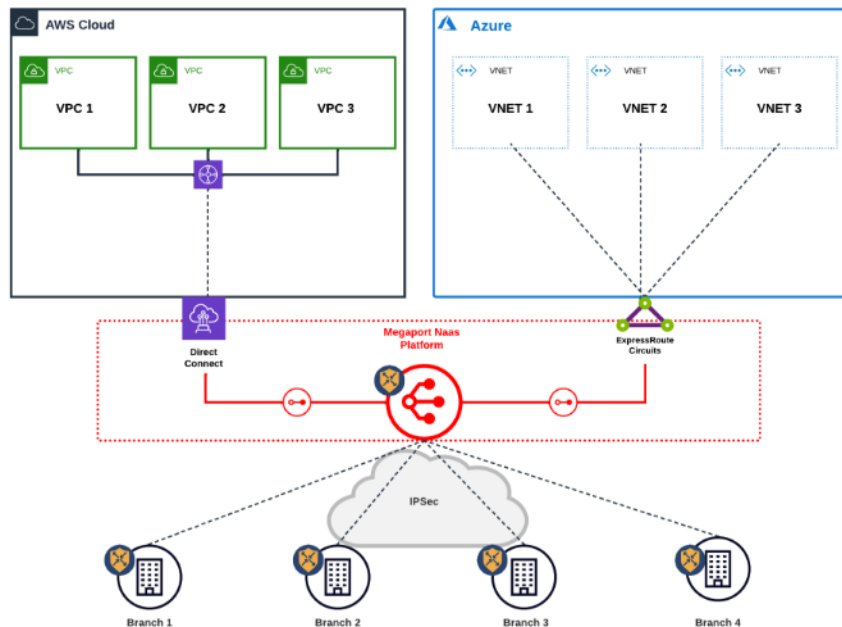
データセンタにクラウドとSD-WANドメインのゲートウェイを構築



- コロケーションやネットワーク機器の追加資産、そして構築および運用費がかかる。
- 構築に時間を要する。
- グローバルでの展開が非常に困難である。

MVEを活用したマルチクラウドとSD-WANサービスの統合モデル

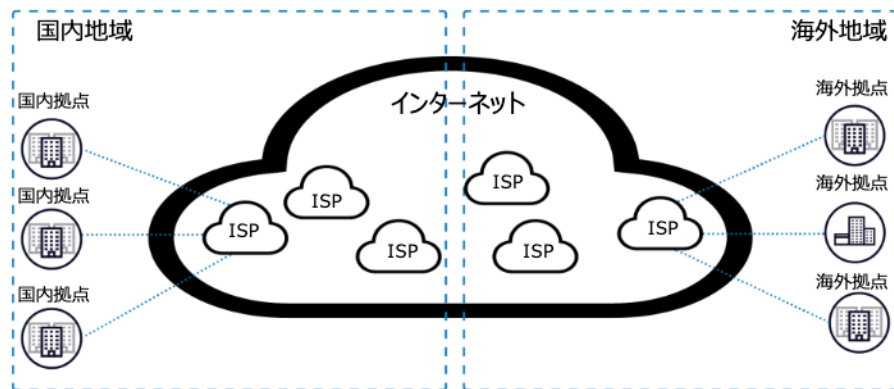
MVEを活用した概要構成図



- コロケーションやネットワーク資産を持つ必要がない。
- ポータルから数分間で構築できる。
- 仮想アプライアンスを集約することによるコストの削減
- 構成が簡素化されることによる運用工数および運用費用の削減
- クラウド間にプライベート接続を活用することでパフォーマンスの向上とEgress料金の60-70%によるコスト削減。
- SD-WANマネージドプロバイダとエンドユーザの責任分界点が明確化。

MVEで、仮想ネットワークハブ/ゲートウェイを構築することでデータセンタレス化を容易に実現

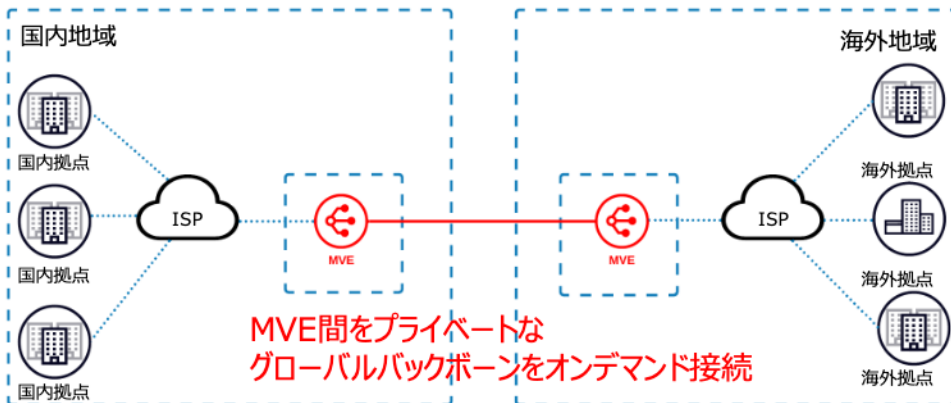
ミドルマイルの最適化



海外拠点と直接IPsecを構築する場合の懸念点

インターネットを利用することによるパフォーマンスの懸念

原因: インターネットは経路の保証がない。

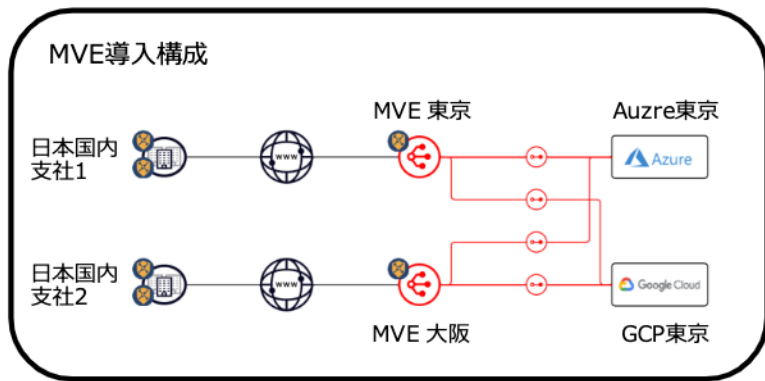


地域間はMegaportプライベートネットワークを活用

経路を予測しにくい区間にプライベートネットワークを活用することで、パフォーマンスと遅延の想定が可能

事例紹介: グローバルテクノロジー企業

世界的なハードウェアおよびソフトウェアメーカーの事例です。



課題:

この会社は、3年前にCCoEを構成し、グローバルで社内の全てのリソースをAzureおよびGCPクラウドへ移行しました。

この環境には、ハイパフォーマンスコンピューティング環境、アナリティクスなどのアプリケーションなどがあり非常にバースト性の高いトラフィックが送信されました。そして、加速度的なユーザ数とアプリケーションの増加が発生しました。その結果、VPNでの接続ではこの増加するトラフィックに対応できなくなりました。

Megaportが提供したもの:

- クラウド間のプライベート接続
- 数クリックで帯域のスケールアップダウンできることによる、バースト性トラフィックへの対応
- 日本国内におけるCisco SD-WAN展開に伴い、コロケーションサービスを利用する必要のないMVEを導入することによるコストの削減

デモ



デモ構成

